



様式1(主な取組)

活動指標名	協議会の設置・海洋人材の育成・研究プロジェクト等の事業化支援				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
					人材育成・啓 発活動に係る イベント等を 実施	人材育成・啓 発活動に係る イベントの実 施	100.0%	8,273	順調	将来の海洋資源関連産業の創出に向けた人材の育成・啓発活動及び県民向けの周知広報等。
活動指標名					H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果									
	調査・開発支援拠点形成に向けた機運の醸成を目的として、将来の海洋資源を活用した新たな産業創出に向けた人材の育成や啓発活動の一環として、小中高生向けの講座、海洋ロボットコンペティションへの支援、企業向けセミナー、講演会等を開催したほか、産業まつりへの出展、パネル展を開催した。									

(2)これまでの改善案の反映状況

平成30年度の取組改善案	反映状況
<p>①国の動向を注視しながら、県内の研究機関や企業等による、事業化につながるような海洋資源関連の研究開発等への取組み状況に関する調査を実施する。</p> <p>②将来の海洋産業を担う人材の育成に向けた取り組みとして、県民の海洋資源に関する意識の醸成を促すためのイベント等を継続して実施する。</p>	<p>①国が実施してきた海底熱水鉱床開発計画に関する総合評価結果踏まえて調査を実施する予定であったが、国からの総合評価結果の公表が12月末となったことから具体的な調査の実施ができなかったため、調査の実施時期も含めて計画を見直す予定である。</p> <p>②人材の育成に向けた取組として、小中校生を対象にした講座を実施し、海洋資源に興味を持ってもらうきっかけ作りを行うとともに、海洋関連の仕事に興味を持ってもらう取組として、環境調査の体験学習を実施した。また、企業関係者向けのセミナーを実施することで、企業関係者にも海洋資源に対する興味・関心を持つ機会を提供できた。その他、企業関係や大学関係からの協力も得て産業まつりへ出展し、体験型イベントを実施した。</p>



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

- ・将来の海洋資源に関連する産業に県内の企業等がどのような形で参画できるのか、国の経済性評価等を踏まえて検討する必要がある。
- ・将来の海洋資源を活用した新たな産業を担う人材の育成に向けた取り組みを継続して実施する必要がある。

##### ○外部環境の変化

- ・平成30年12月にこれまで実施されてきた資源量調査、環境調査等の結果を踏まえた「海底熱水鉱床開発計画総合評価報告書」が経済産業省から公表された。また、平成31年2月には「海洋エネルギー・鉱物資源開発計画」も改定されたことから、これらの内容を踏まえ海洋資源調査・開発支援拠点として求められるより具体的な要件等について、引き続き情報収集等を行う必要がある。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・引き続き国や関係機関等との連携・情報共有を深める必要がある。
- ・海洋資源に関する県民意識を醸成するとともに、企業・研究機関等産学官における連携・情報共有を進めながら、将来の産業化を見据えて、海洋資源調査・開発支援拠点として沖縄県が参画できる分野や人材の育成に必要な取組について検討を行う必要がある。



### 4 取組の改善案(Action)

- ・国や関係機関等との連携・情報共有を行いながら、海洋資源調査・開発支援拠点として沖縄県が参画できる分野について検討を進める。
- ・海洋資源に関する県民の関心を高めるようなイベントを実施するとともに、海洋資源調査・開発支援拠点として求められる人材の育成に必要な取組について検討を行う。